資源リサイクル化に貢献する

ウジイエの次世代型　スーパー破砕機

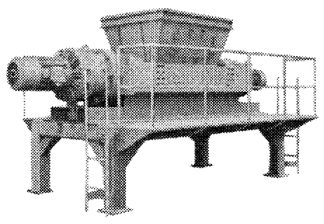
お客様第一
品質第一
安全第一

グッドカッター

低トルク！低騒音！一体型変則ネジレ刃！で強力剪断・破砕！

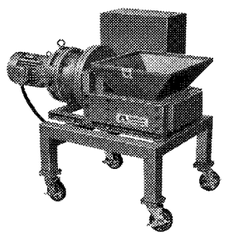
●埼玉県工業技術奨励賞
●全国中小企業融合化優秀製品賞

UGS、UGSSシリーズ



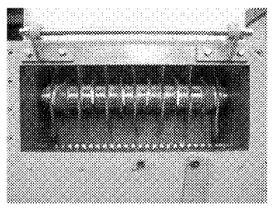
大型・産業廃棄物の剪断・破砕に！

UGシリーズ



切粉等の剪断・破砕に！

[タベタカッター]



野菜などの食品廃棄物の剪断・破砕に！

●難破砕材の剪断・破砕に挑戦します。
●切れ味・破砕力・耐久性・保守性・軽量化・操作性・安全性で末永く貢献いたします。
●大・中・小型機。自動車搭載型と豊富な品ぞろえをいたしました。
●アフターサービスを充実。即応体制を整えました。
●テスト破砕はいつでもご用命ください。

[用途]
●工作機械切削切粉の剪断・破砕に！
●廃棄プラスチック・可燃ゴミ固形燃料化前工程の剪断・破砕に！
●剪定枝・落ち葉・雑草・魚類・野菜屑等、バイオコンポスト前工程の剪断・破砕に！
●シュレッダーダストの減容・破砕に！
●アルミ、鋼鉄、プラスチック、空き缶、電線、電話機、自動車タイヤ内装材、バンパー、FRP、ガラス、木材、電話帳、生ゴミ、タタミなど破砕に！

彩の国工場 指定

株式会社　氏家製作所
〒330-0856　さいたま市大宮区三橋1丁目592番地
TEL.048-663-1081代表　FAX.048-652-1854

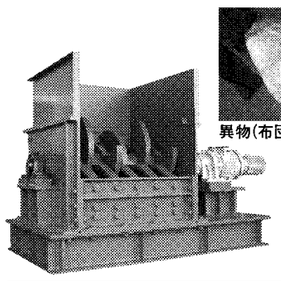
REGISTERED ORGANIZATION No.0801-ISO9001　JAB CM002

URL
http://www.ujiie-ss.co.jp

バイオマス系廃棄物　各種処理装置

各種特許出願中

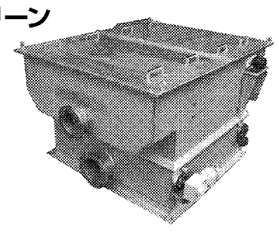
現在、地球温暖化防止の観点から、主に焼却処理されているバイオマス系廃棄物中の有機性廃棄物のみを取り出し、メタン発酵することによりエネルギー回収しようという取り組みが各地でなされています。しかし、種々のゴミ質が混在するバイオマス系廃棄物から、有機性廃棄物のみを選別することは非常に困難で、その結果、前処理である選別システムが複雑化し、普及させるための大きな障害となっています。弊社ではこのような問題を解決しメタン発酵によるエネルギー回収を普及させるべく、バイオマス系廃棄物向け前処理選別装置の簡略化を目標として、各種の処理装置の開発を進めてまいりました。



異物（布団・衣類・金属等）

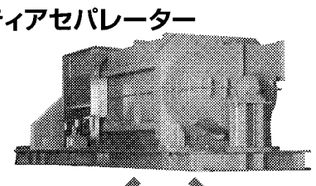
解砕機（異物排出機構付）
一般可燃ごみを解砕及び異物除去
・一般可燃ごみを袋ごと解砕し中に含まれる粗大発酵不適物（布団・衣類・金属・木屑・その他）の除去を行う。

振動スクリーン

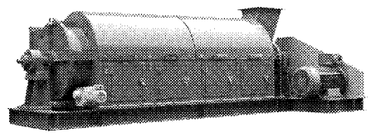


振動スクリーン
排水・廃液中の混入物の除去装置
・装置・設備排水からの混入物の除去。
・発酵好適物の水切り。

ティアセパレーター



スピンドライヤー



発酵好適物

発酵不適物
（硬質／軟質プラ・布・金属等）

発酵好適物
生ごみスラリー

破袋選別機（ティアセパレーター）
袋詰めされた可燃ごみからバイオマス資源を回収
・発酵好適物（厨芥類）と発酵不適物（プラスチック・布類等）を分別します。

スピンドライヤー
好適物から異物（プラ類・金属等）を除去分別
・好適物内に混入したプラ類等を除去し好適物は、叩かれスラリー状になり分別します。

営業品目
RPF製造プラント、地方自治体及び産業廃棄物関連施設の
リサイクルプラント、ビン、缶リサイクルプラント

●製造・発売元
株式会社　タジリ
優秀経営者顕彰地域社会貢献者賞受賞、埼玉産業人クラブ西海記念賞受賞

〒369-1108　埼玉県深谷市田中357-1
TEL 048-583-3525(代)　FAX 048-583-3527
URL http://www.tajiri.co.jp　E-mail info@tajiri.co.jp

廃棄物処理技術

復旧・復興に貢献する

2011年3月11日に発生した東日本大震災による被害は甚大であり、国を挙げて被災地の復旧・復興に向けた作業が進んでいる。こうした中、震災で発生したゴミの仮置き場への搬入など、災害廃棄物の処理が行われている。大量に発生した災害廃棄物は、復旧・復興を妨げる要因になるとともに、生活環境に悪影響を及ぼす可能性が高い。このため災害廃棄物の迅速で適切な処理が求められている。

仙台市内の野球場には家電などの震災ゴミが搬入された

東日本大震災　1カ月
野球場に震災ゴミ搬入

東日本大震災の発生から1カ月が経過。被災地における生活、経済活動などの回復を図るため、電力、ガス、水道といったライフラインや交通網の復旧作業などが展開されている。こうした復旧の大前提となるのが、災害廃棄物や海岸漂着物の処理だ。

東日本大震災後から4回目の日曜日となった4月3日。

被災した仙台市の宮城野区にある野球場「日の出町公園野球場」を囲む道路に、朝から野球場への入場を待つ自動車の列ができた。その列はしばらく絶えることがなかった。

自動車で訪れた人々の目的は、自動車に積んできた震災ゴミの搬入だ。両翼98㍍の野球場は、震災で壊れた、家庭の食器や、家具などを受け入れるためゴミ仮置き場となっていた。野球の試合の守備位置でレフトからセンターにあたる場所には家電製品、同じくライト付近は木製家具といった具合に、さまざまなゴミが分別しやすいように置かれていた。訪れた自動車は、それらの山積みされたゴミの前で止まり、震災ゴミを下ろすと、素早く野球場を後にしていった。

今回の地震・津波で倒壊したり、流出したりした家屋のがれきや家電製品は、膨大な量になっている。それらの処理に要する時間も数年に及びそうだ。

阪神・淡路の震災がれき
50%リサイクル

95年1月に発生した阪神・淡路大震災では、約2000万㌧という大量の震災がれきが発生。通常時に発生する一般廃棄物発生量の約8年分という膨大な量だった。

阪神・淡路大震災におけるがれき処理実績では、不燃物については、リサイクルに回ったのがコンクリート、金属などで約45%、残りの55%が最終埋め立て処分された。また可燃物については焼却処理が約86%、リサイクルは木くずなどで約4%、最終埋め立て処分は約10%だった。

阪神・淡路大震災発生後の仮置き場の確保については、主な被災県となった兵庫県では、倒壊建物などの解体・撤去が速やかに進められ、発生した廃棄物の一時保管用に129㌶（合計55カ所）の仮置き場が確保された。当時、公共の土地や未利用あるいは未完成の海面埋め立て地が同県に数多くあり、これらを有効に使った。

また、震災がれきの中間処理のため、破砕機・焼却炉が有効に活用された。その能力は破砕機45基合わせて1日当たり1万1555㌧、焼却炉34基合わせて同1780㌧だった。阪神・淡路大震災時には、破砕、焼却処理施設に致命的な被害がほとんどなかった。

震災がれきのリサイクルについては、阪神・淡路大震災では、主にコンクリートは海面埋め立て用材、路盤材に、木くずはチップ化後、パルプ原料、燃料、肥料に使用。復旧・復興に利用することで、約50%の廃棄物がリサイクルされた。

震災がれきの最終処分では、阪神・淡路大震災において最終処分されたがれきのうち、兵庫県外で処分されたものは全体の10%程度だった。

県境を越え破砕、焼却
広域的に協力を

震災後に発生する廃棄物のうち、発生量が多く早期復旧の妨げになるのがコンクリート塊、木くず、金属くずなどだ。これらのうち、リサイクル可能なものは再資源化され、それ以外のものは最終処分場に埋め立て処分される。リサイクルできない可燃物は、減量化のため最終埋め立て処分の前に焼却される。

災害廃棄物を処理するためにさまざまな技術が使われる。例えば良質なコンクリートは、粗破砕技術で埋め立て用材や復旧・復興資材に、破砕・粒調技術で再生骨材になる。良質な廃木材はチップ化によってパルプ原料、木炭化で家庭用燃料になる。金属くずのうち、良質な鋼材は選別・切断技術を用いて建設用材に、選別・圧延技術で再生棒鋼となる。

今後、膨大な量の廃棄物を処理するため、県境を越えた広域的な協力を行い、各自治体が保有する破砕、焼却設備を最大限に活用することなどが不可欠になる。そうした中、復旧・復興に貢献する技術として、廃棄物処理技術の役割がますます重要になってきそうだ。

Hi-OSS
Hitachi On-site Screening & Solution

HITACHI

環境リサイクルのトータルソリューション
日立オンサイトスクリーニングアンドソリューション<Hi-OSS>

物や資源を消費する生活から、繰り返し再利用していく生活へ。そのために、様々な知恵や工夫が求められています。日立建機は持続可能な社会の発展をめざして、建設現場などで発生する石、木材、混合廃棄物、土などの対象物を効率良くリサイクルするための多彩な製品とトータルなソリューションの開発に取り組んでいます。現場やお客様の状況に合わせた製品の選定からシステム提案に至るまで、環境リサイクルのことなら日立建機にご相談ください。

＊「オンサイトスクリーニングアンドソリューション」「ハイオス」「Hi-OSS」は、日立建機株式会社の登録商標です。

日立建機株式会社　東京都文京区後楽2-5-1 〒112-8563 ☎ダイヤルイン（03）3830-8033
URL:http://www.hitachi-kenki.co.jp